

第66期に関するご報告

2023年3月1日～2024年2月29日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
中期経営計画「2125計画」3年目の年

★第66期開店



Contents

- 事業のご報告 1
- 長期ビジョンと中期経営計画 3
- ビジネスモデル 4
- 会社創立65周年記念 ビジネスモデル構築までの変遷 5
- 第66期トピックス[店舗開発] [サステナビリティへの取り組み] 7
- 財務諸表 9



証券コード: 2742

事業のご報告

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社「第66期に関するご報告」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2024年5月

代表取締役社長 **佐藤 利行**



当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う活動制限が緩和され、徐々に経済活動が正常化に向かう一方、資源価格や原材料価格の高騰及び円安による物価上昇等、先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界を取り巻く環境につきましては、輸入物価の高騰等によるインフレを背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。なお、スーパーマーケット業界では、原材料の高騰等による商品価格の上昇を背

景に、既存店の売上高前年比は回復基調となりました。

このような状況の中で当社は、以下の主要な取り組みを行いました。

- ①商品面 重点販売商品の育成及び適切な品質かつ低価格を基本コンセプトとしたプライベートブランド商品のシェアアップを継続して実施
岡山県立大学との共同開発による「栄養バランス弁当」第11弾を販売
- ②販売促進面 生活防衛企画及び自社会員カード(ハロカ)のポイント優遇施策
- ③店舗運営面 全店24時間営業を継続、6店舗の大改装、自動発注システムの拡大
- ④店舗開発面 4店舗の新規出店
- ⑤社会貢献面 食品ロス削減の仕組み「ハローズモデル」を中心とした各自治体、フードバンク事業関連団体・各企業と連携した活動、自社エコセンターによる資源の再利用
「店頭回収エコキャップ収益金」、「もずく販売収益金」の寄付
「第10回ハローズカップ瀬戸内少年少女サッカー大会」、「第7回夏休み親子食育体験工場見学」、「防災デイキャンプ早島」の開催

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する

- ⑥経営面 機動的な資本政策のため、15,000株の自己株式を取得
- ⑦組織面 社長室及び経営企画室を統合し、総合企画室を新設
- ⑧物流面 坂出口ジスティクスセンター、兵庫低温センター、広島低温センターを新設

以上の結果、当事業年度の営業収益は1,954億44百万円(前期比12.3%増)、営業利益は108億70百万円(前期比20.1%増)、経常利益は108億96百万円(前期比19.2%増)、当期純利益は85億89百万円(前期比38.5%増)となりました。営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

また、当社は商品小売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

当事業年度の配当金につきましては、中間配当として普通配当1株当たり20円、期末配当として普通配当1株当たり24円に「創立65周年記念配当2円」を加え、26円を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり46円といたします。

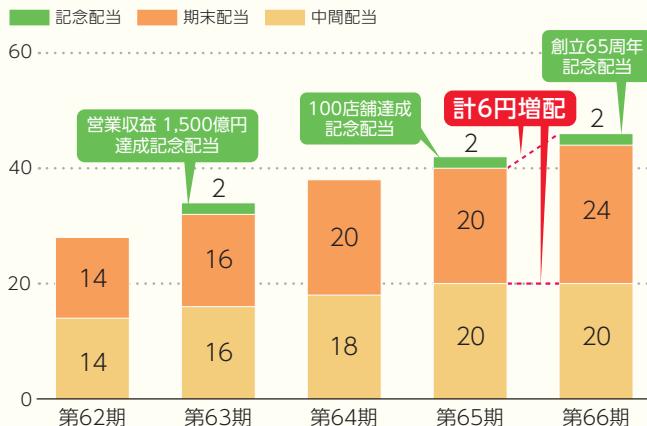
今後の見通しにつきましては、景気は引き続き回復基調を維持するとの見方があるものの、物価の上昇等により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争に柔軟に対応しつつ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

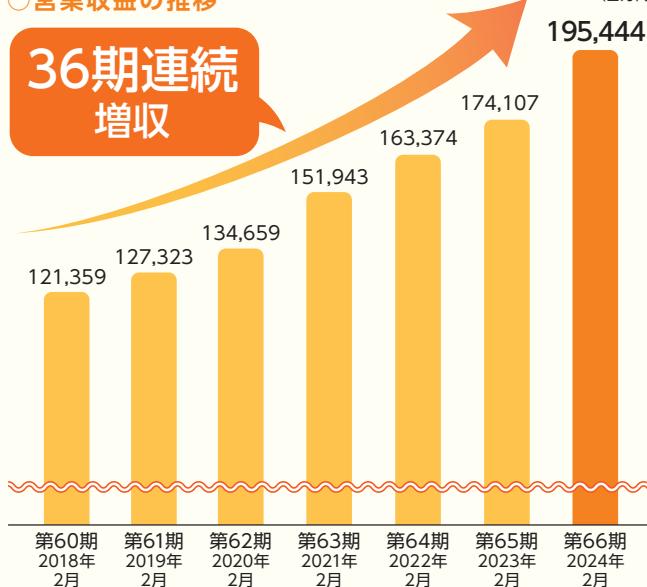
○配当金の推移

(単位:円)



○営業収益の推移

(百万円)



(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第65期の期首から適用しており、第65期以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想 中期経営計画「2125計画」

瀬戸内沿岸部に設定した商勢圏内(中国・四国・近畿の7県下)に、180店の店舗展開を行い営業収益3000億円を目指しております。

中期経営計画「2125計画」3年目として、計画を上回る営業収益となりました。

今後も「地域一番お客様貢献店づくり」を推進し、お客様の生活スタイルに対応した「より良い商品」を「低価格」で提供していきます。

中期経営計画 2125計画

長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗
3000億円構想



2125計画とは？

2025年度迄に
120店舗体制で
2000億円を達成！

2125計画とは、2025年度までに120店舗体制で営業収益2000億円を達成する計画です。

詳細は下記のウェブサイトよりご確認ください。



<https://www.halows.com/ir/vision/>

食をプロデュースするハローズへ進化

お客様に日々ご利用いただけるハローズを目指し、低価格、品揃え、サービス機能の強化により「地域一番お客様貢献店づくり」を推進していきます。

また、従業員が生き活きと夢や目標に向かって活躍できるハローズを目指し、人事制度、オペレーション、店舗施設などを再構築し、「元気になる会社づくり」をはかっていきます。

さらにビジネスモデルの進化で成長するハローズを目指し、坂出口ロジスティクスセンター、兵庫低温センター、広島低温センター新設による物流拠点網の拡大と効率的な物流体制などを展開し、「生産性の高い会社づくり」を行っていきます。

ビジネスモデル



ビジネスモデルの概要

お客様ニーズ

いつでも買物ができる24時間営業

365日の食生活を提案と豊富な店揃え

より良い商品をお値打ち価格で

ハローズ

ビジネスモデル 1 24時間トータルオペレーションシステム
店舗運営+物流+情報の各システム

ビジネスモデル 2 600坪型店舗のNSC
業態の良さ+Pプライス+ショートタイムS

ビジネスモデル 3 製造・物流・販売の一括管理
SCM(サプライチェーンマネジメント)

NSC：近隣購買型ショッピングセンター Pプライス：ポピュラープライス
ショートタイムS：ショートタイムショッピング

ビジネスモデル 1 24時間トータルオペレーションシステム

いつでも買物ができる24時間営業を実現する体制

お客様の生活スタイルに合わせて、いつでも行きたい時間帯にお買物いただける店舗運営を行っております。

様々なお客様のニーズに24時間応えるため

昼

- 商品加工
- レジ業務
- 接客対応

24h

- 商品陳列
- 店内清掃
- 防犯体制

夜

24時間営業：作業の平準化による効率的なオペレーション

[24時間バックアップ]
店舗に合わせた物流体制

[24時間フォローアップ]
本部・センター情報提供

24時間サポート

店舗オペレーションを中心としたビジネスモデル

ビジネスモデル 2 600坪型店舗のNSC

600坪型標準店舗

高い天井、広い通路で快適な店内空間で買物ができます。

NSC(近隣購買型ショッピングセンター)

購買頻度の高い商品を扱う店舗を誘致してNSCを形成することで、ショートタイムショッピングができます。



ビジネスモデル 3 製造・物流・販売の一括管理

より良い商品をより安く

自社物流及び本部機能を中心に、調達～販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。



PB総品目数

803品目

売上高構成比

12.3%

2024年2月29日
現在

会社創立 65周年記念 ビジネスモデル構築までの変遷

ビジネスモデル ① 24時間トータルオペレーションシステムの進化

府中から広島県福山市に進出し深夜営業を開始

(24時間営業の基礎となった)



福山市に伊勢丘店を出店し、地域のお客様のライフスタイルに合わせるために、当時では珍しく深夜12時まで営業を行った。

1974

24時間営業の開始

24時間営業のノウハウを学ぶために、米国視察を行い、調査を行った。そして、お客様の新たなライフスタイルに合わせた24時間営業を引野店から開始した。その後、全ての店舗で24時間営業を行い、徐々に進化させていった。

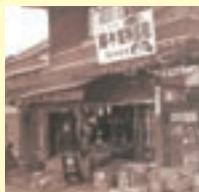
1994



ビジネスモデル ② 600坪型店舗のNSCの進化

レジスター3台が置かれたスーパーマーケットの設立

創業者 佐藤國人は、全国でスーパーマーケットが次々に誕生していた中で、その時流に乗り広島県府中市に「株式会社府中スーパーマーケット」を設立した。



1958

チェーン化への布石(5店舗出店)

福山市伊勢丘に出店してから、より人口の多いエリアに連続して出店することで規模拡大をはかった。この出店によってハローズのチェーンの基礎となる店舗作りを行った。



1978-1983

NSCへの挑戦

一ヶ所で買物ができる便利なお店づくりのために、「ハローズ神辺店」において、ドラッグストア、100円均一ショップ、眼鏡ショップと複数のテナントを併設した。ここで初めてNSCを作る事に成功した。



1996

ビジネスモデル ③ 製造・物流・販売の一括管理の進化

移動販売(製造・物流・販売)の基礎

「走るマーケット」として、府中本店から商品を運搬して販売する、物流と販売を同時に行う商売を開始することで、販路を広げ、より多くのお客様に商品を提供した。



1964

物流と製造体制を構築(PCセンター設立)

惣菜加工品を幅広く品揃えするために、物流も兼ね備えた惣菜加工工場「ハローズデリカセンター」を設立した。これにより、全店にタイムリーに商品を提供する仕組みを作って、より多くのお客様の支持を得るきっかけとなった。



ハローズデリカセンター

1989

福山市に物流センター建設

生鮮の鮮度を上げ、物流と作業の効率を上げるために、生鮮とデイリーの物流センターと青果加工センターを併設し24時間物流体制を構築した。



2001

1958年

1
店舗

1978年-1983年

6
店舗

1989年

7
店舗

1996年

11
店舗

2001年

16
店舗



実験と検証の繰り返しでノウハウを構築



24時間情報システム



24時間物流システム



24時間店舗運営システム

106 店舗全店
24 時間営業

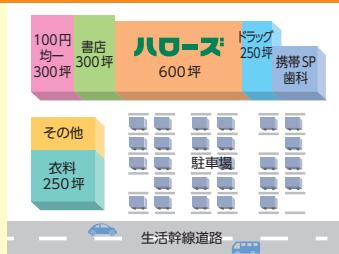
※2024年2月末時点

ニューフォーマット店舗とNSC化の推進

当時主流の中・小型店舗から600坪型の大型店舗を作ることで、品揃えを増やし、通路幅、天井高を取り、ゆったり買物ができる店舗づくりを行い、同時にテナントも併設したNSCを標準としてその後も出店を行った。



600坪型店舗のNSC



NSCの一例

600坪型

81.1%

NSC比率

77.4%

※2024年2月末時点

早島物流センター稼働

中四国エリアに商勢圏を拡大するために、出店エリアの中心となる岡山県都窪郡早島町に「早島物流センターと新本部」を建設した。



2011

坂出口ロジスティクスセンター・ 広島低温センター・兵庫低温センター稼働

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」を実現するため全エリアをカバーする3つのセンターを稼働させた。



2023

早島物流センター、岡山フローゼンセンター、坂出口ロジスティクスセンター、兵庫低温センター、広島低温センターによる物流体制を構築

※2024年2月末時点

2004年

23
店舗

2011年

48
店舗

2017年

74
店舗

2023年

106
店舗

更なるビジネスモデルの進化へ

トピックス [店舗開発]

第66期の新規出店と改装状況 第66期は兵庫県2店舗、愛媛県1店舗、山口県1店舗の新規出店を行いました。

既存店舗のドミナント化を中心に600坪型24時間営業の4店舗の新規出店により、店舗数は広島県32店舗、岡山県27店舗、香川県14店舗、愛媛県9店舗、徳島県9店舗、兵庫県14店舗、及び山口県に1店舗の合計106店舗となりました。

また、既存店6店舗に対して[地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更]と[省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事]等の改装を行いました。

新規出店店舗

ハローズ
のさとてん
野里店

兵庫県姫路市

2023年
4月6日開店



ハローズ
とうよてん
東予店

愛媛県西条市

2023年
6月24日開店



ハローズ
にしのみやまぐちてん
西宮山口店

兵庫県西宮市

2023年
11月1日開店



ハローズ
ほうふしんてん
防府新田店

山口県防府市

2023年
12月2日開店



改装店舗

ハローズ
まるがねなかてん
丸亀中府店

香川県丸亀市

2023年3月18日リニューアルオープン



ハローズ
みのみてん
水呑店

広島県福山市

2023年5月19日リニューアルオープン



ハローズ
とおかいちてん
十日市店

岡山県岡山市

2023年7月15日リニューアルオープン



ハローズ
おくてん
邑久店

岡山県瀬戸内市

2023年9月15日リニューアルオープン



ハローズ
ぶっしょうさんてん
仏生山店

香川県高松市

2023年10月6日リニューアルオープン



ハローズ
まいだいしてん
西大寺店

岡山県岡山市

2024年2月16日リニューアルオープン



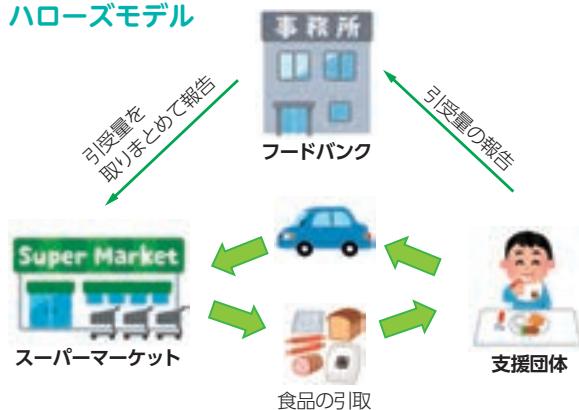
トピックス [サステナビリティへの取り組み]

ハローズは地球環境、社会的及び経済的な課題についてステークホルダーと協働し、積極的且つ継続的に取り組むことで、世界中の人々の幸せづくりに貢献し、日々の業務の中でサステナビリティを意識した活動を一層推進してまいります。

フードバンクの新しい形「ハローズモデル」

ハローズが開発・提唱した「支援を受ける団体が近隣の店舗で直接引き取る」フードバンクの新しいかたち「ハローズモデル」によって、これまで消費期限が短く提供が困難だった乳製品や日配品などの提供が可能となりました。これにより従来型のフードバンクの10倍の商品提供が可能になりました。

ハローズモデル



フードバンクが支援している子ども食堂等の生活支援団体が、近隣のスーパーへ直接引取に向かう

ハローズモデルによって提供可能になった食品

- 野菜
- 日配品
- 惣菜
- 果物
- 加工食品
- 菓子
- ハム・ソーセージ
- アイスクリーム
- 乳製品
- 冷凍食品

第2回防災デイキャンプ早島

開催日：2023年10月22日(日)

開催場所：フォレスタ！早島町ふれあいの森公園

「防災デイキャンプ早島」は、「早島町様」「山陽新聞社様」との共同開催で昨年に続き2回目となります。

小学生のお子様のいる親子40組が参加され様々な「防災プログラム」を体験していただきました。

地震や台風、津波などの自然災害は、いつ起こるかわかりません。いつでも対応できるよう、楽しく防災について学ぶ場として各方面より高い評価をいただいております。



消火訓練

第10回瀬戸内少年少女サッカー大会 ハローズカップ

開催日：2023年7月1日(土)・2日(日)

開催場所：倉敷市水島緑地福田公園サッカー場

瀬戸内の少年少女の健全な心身の育成とサッカーの発展を目指すとともに、地域貢献に繋げようと倉敷市スポーツ振興協会と共催し、2012年から開催されています。

岡山・広島・兵庫・香川・愛媛・徳島の各県から抽選で選ばれた24チーム約380名の小学生選手が熱戦を繰り広げました。より多くの皆様に参加いただけるよう、これからも、地域のスポーツ振興に貢献いたします。

財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

	第66期 2024年2月29日現在	第65期 2023年2月28日現在
資産の部		
流動資産	25,034	23,747
現金及び預金	17,127	16,705
その他	7,914	7,048
貸倒引当金	△8	△6
固定資産	79,250	75,400
有形固定資産	67,323	63,891
無形固定資産	916	539
投資その他の資産	11,010	10,969
資産合計	104,284	99,148
負債の部		
流動負債	24,027	22,886
買掛金	10,685	9,485
一年内返済予定の長期借入金	3,880	4,153
リース債務	418	473
未払金	1,729	1,491
未払費用	1,573	1,407
未払法人税等	1,628	1,764
その他	4,110	4,111
固定負債	17,742	21,454
長期借入金	10,176	14,057
リース債務	665	754
退職給付引当金	850	805
資産除去債務	1,686	1,574
預り建設協力金	902	938
長期預り敷金保証金	2,224	2,101
長期前受収益	955	934
その他	281	288
負債合計	41,770	44,341
純資産の部		
株主資本	62,295	54,641
資本金	5,444	5,430
資本剰余金	5,396	5,383
利益剰余金	51,622	43,930
自己株式	△166	△102
評価・換算差額等	1	0
その他有価証券評価差額金	1	0
新株予約権	217	164
純資産合計	62,514	54,806
負債・純資産合計	104,284	99,148

(注)各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

	第66期 2023年3月1日から 2024年2月29日まで	第65期 2022年3月1日から 2023年2月28日まで
売上高	189,932	168,819
売上原価	141,094	126,106
売上総利益	48,837	42,713
営業収入	5,512	5,287
営業総利益	54,350	48,001
販売費及び一般管理費	43,479	38,948
営業利益	10,870	9,052
営業外収益	165	200
営業外費用	139	111
経常利益	10,896	9,141
特別利益	449	3
特別損失	27	12
税引前当期純利益	11,318	9,131
法人税等	2,729	2,929
当期純利益	8,589	6,201

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第66期 2023年3月1日から 2024年2月29日まで	第65期 2022年3月1日から 2023年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	13,154	10,619
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,249	△11,519
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,603	4,075
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	301	3,174
現金及び現金同等物 の期首残高	17,837	14,663
現金及び現金同等物 の期末残高	18,139	17,837



株主資本等変動計算書

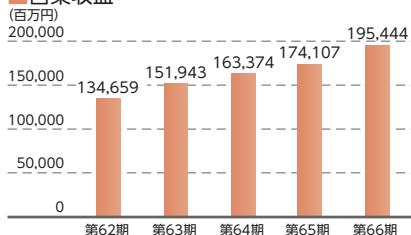
当事業年度(2023年3月1日から2024年2月29日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本										評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金			評価・ 換算 差額等 合計
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他 利益剰余金	圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	5,430	5,373	9	5,383	16	194	30,722	12,997	43,930	△102	54,641	0	0	164	54,806
当期変動額															
新株の発行(新株予約権)	13	13		13							26				26
剰余金の配当								△897	△897		△897				△897
当期純利益								8,589	8,589		8,589				8,589
圧縮積立金の積立						291		△291	—		—				—
圧縮積立金の取崩						△21		21	—		—				—
別途積立金の積立							4,300	△4,300	—		—				—
自己株式の取得										△64	△64				△64
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)												0	0	53	53
当期変動額合計	13	13	—	13	—	269	4,300	3,121	7,691	△64	7,654	0	0	53	7,707
当期末残高	5,444	5,387	9	5,396	16	464	35,022	16,119	51,622	△166	62,295	1	1	217	62,514

ハローズの業績推移

営業収益*



営業利益



経常利益



当期純利益



総資産 / 純資産



1株当たり当期純利益 / 1株当たり純資産



(注) 1. 売上高に営業収入を加算し、営業収益としております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第65期の期首から適用しており、第65期以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

